



まちづくり カフェ@東山

平成29年度
第1回
開催報告

まちづくりカフェ@東山

(通称“まちカフェ”)とは

東山のことをもっと知りたい！
まちづくりに興味がある！という人たちが集い、語り合っていたく場です。
今回は、まちづくりに関するテーマを設定しています。地域で活動している人のお話も聞くことができます！

開催日時：平成29年5月30日（火）

18：30～20：30

場 所：東山区総合庁舎
3階大会議室

参加者：48名

テ ー マ：学生が地域で活動すること

1 今回のまちカフェ

今回のテーマは

「学生が地域で活動すること」

学生と一緒に活動したいと思う地域の方と、
地域の方と一緒に活動したいと思う学生がそれぞれの思いを語り合いました！

幅広い世代の方々が参加され、まちカフェならではの世代を超えた様々な意見交換から、どんな生まれる活動が生まれるのか楽しみです！



テーマごとのテーブルに分かれて意見交換！

また、今回のテーマにふさわしい、東山区で積極的に地域に関わる活動をしている3名の学生にそれぞれの活動を紹介していただき、各々ディスカッションのトークテーマを提供していただきました。

「近代産業遺産アート

再生プロジェクト まか通

(京都造形芸術大学)

→京都造形芸術大学のプロジェクトのひとつ。六原学区を中心に、鍾馗(しょうき)まつりなどを開催。

「想いのしおり」

(京都美術工芸大学)

→京都美術工芸大学他の学生が東山区を含む京都の職人さんへのインタビューを行い、フリーペーパーを発行する活動に社会人も加わって活動中。

「おちゃのこ会」

(京都華頂大学、京都橘大学等)

→各大学の茶道部が中心となって活動。白川地域などの地元の地蔵盆行事に合わせて茶席を設けて茶会を実施。

2 ディスカッションの テーマ、内容



ディスカッションのテーマ	内容
六原ハウス(※)を知ってもらうためには？ (まか通)	場所がわかりにくいので、地図や看板を立てたり、イベントに関連させるなど、広報について意見を出し合っていました。 ※「まか通」が六原学区に構える活動拠点
東山区の職人さんとしていたいコト 知りたいコトはありますか？ (想いのしおり)	ひとりの学生から始まった活動のきっかけやメンバーをどのように集めたかに関心を寄せていました。今後は参加したいと思うようなイベントの内容を考えていきます。
地域の方が学生に求めることは？ (おちゃのこ会)	地域の方と学生の考えの違いを理解し合い、地域を巻き込んだ活動をもっと進めていくことを目指すそうです。
まちカフェラボ(※)の 今後の活動学生が参加しやすい 活動とは？	「何をするか」を明確にし、もっとまちカフェに密着した活動を考え、まちカフェでの活動を増やしていきたいと意欲的でした。 ※まちカフェを盛り上げるために活動する学生のグループ
学生と社会人の接点について	学生と社会人の情報発信のためのSNSなどのツールの違いや、信頼関係を築いて学生と社会人が本音で話すことが必要であるなどの気づきがあったようです。
DIY×空き家	京都の空き家は資産価値が高く、難しい点もあることを再認識しながら、プロ(工務店)の方と関わるなどして、このテーマで活動したいと意見を出し合っていました。
鍾馗(しょうき)さんを知る！ 座談会とまち歩きイベント	若い人のほとんどは鍾馗さん知らないが、地域の良いところを知りたい人は多いということを踏まえ、魅力を発見する方法を探っていました。

3 次回のご案内

次回は **8月7日(月) 18:30**からの開催となります。みなさんから意見交換したいテーマを募集し、交流していただきます！

6月12日(月) 18:30は、まちづくりの相談やミーティングができる「オープンロビー」を行いますので、こちらもぜひご参加ください。